

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
1	2-1-6	営業部設置事業	市長公室
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	企業間の連携や森林セラピーに対して、一定の効果や前年度に引き続き結果を出しており、予算額や委託内容を鑑みると評価に値すると考える。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	委託先は自治体や企業と伴走型で提携される企業であるため、事業目標の設定と費用対効果の検証をしつつ、ブランディングを強化する取組など委託内容の拡充が必要であるため。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	営業部設置事業については、実績のある企業と契約していることから市全体の営業やブランディング企画等を担っていただき、また市職員の人材育成につながるよう努められたい。	
5	廃止		

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号		款一項目		事業名		部局	
2		2-1-15		ふるさと納税推進事業		市長公室	
評価				評価に至った理由			
A		十分評価できる		自主財源の確保につながるふるさと納税は成果があり、一定の評価ができる。一方で企業版ふるさと納税の申込みがなかったことに課題がある。			
B		評価できる					
C		あまり評価できない					
D		全く評価できない					
今後の方向性				判断の理由			
1		拡充		自主財源を確保できる事業であるため、より積極的に取り組んでいただきたい。			
2		このまま継続					
3		改善して継続					
				翌年度予算に対する意見			
4		大幅な見直し		今後も自主財源の確保のために官民連携での商品開発、「モノ」から「コト」への体験型の返礼品や企業版向けスポーツ連携など魅力ある企画など積極的に取り組んでいただきたい。			
5		廃止					

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
3	2-1-1	職員研修事業	総務部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	人材育成、カーボンニュートラル、DX推進研修など、積極的に職員を派遣されている。市単独の事業としても、自治体DX実践研修として、業務プロセス改革(BPR)研修を実施されていることは評価できる。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	実効性を上げるために、職員の目標や成果が見える化する必要がある。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	職員研修事業については、地域ごとの実情を踏まえ本市が抱える課題を明確にし、研修実施後にどう業務に活用していくか目標やビジョンを持って、職員の能力開発や満足度の高い研修となるよう取り組まれない。	
5	廃止		

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
4	2-1-10	メール配信環境整備事業	総務部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	有事の際に自治体から配信される情報は、市民にとって非常に心強いものである。災害などの緊急時に自治会長へファクス通信で連絡していたものをメールやLINEでも配信できるようになった当事業は、評価できる。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	市民にとって役立つ情報発信であるため。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	防犯情報・災害情報・行方不明者情報・イベント情報など今後の利用拡大を期待する。	
5	廃止		

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
5	2-1-9	協働のまちづくりの推進	市民生活部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	新たな形で地域のコミュニティをつくろうとしている方向性は正しいと考えるが、多くの地区において、機運が醸成されておらずあまり評価できない。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		判断の理由
1	拡充	地域運営組織を市主導でなく地域主導で進めたいとの市の意向があるが、地域内の合意形成に時間を要し、組織の設置に至っていないため。
2	このまま継続	
3	改善して継続	
		翌年度予算に対する意見
4	大幅な見直し	地域課題の解決等のためにも地域コミュニティづくりを早急に進める必要があることから他市の状況などを参考にしながら取り組まれない。
5	廃止	

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
6	9-6-1	生涯スポーツの活動の推進	市民生活部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	生涯にわたって健康で生きがいにあふれたまちづくりには欠かせないスポーツ施設の環境整備における劣化状況調査を実施できたため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		判断の理由
1	拡充	スポーツ施設の劣化状況の調査などの結果を受け、今後も市民が安心してスポーツを楽しむ環境整備を維持する必要があるため。
2	このまま継続	
3	改善して継続	
		翌年度予算に対する意見
4	大幅な見直し	市民が安心してスポーツを楽しめる環境整備を進めるためにも長寿命化計画の策定により施設の改修を計画的に実施されたい。あわせて市立スポーツ施設のあり方についても検討されたい。
5	廃止	

令和5年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
7	3-1-1	ひきこもり対策推進事業	健康福祉部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	令和5年度においては3か所において、イベント型の居場所が提供され、参加することにより、人とのつながりが生まれている。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	長期間にわたり引きこもり状態にある人やその家族が社会とつながり、相談できる場の提供ができています。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	ひきこもり対策推進事業については、イベント型居場所の提供により、ひきこもりサポートセンターに繋がり、長期のひきこもり状態にある人やその家族が社会とつながり、相談できる場の提供ができたことが評価出来る。今後さらなる居場所の提供を検討されたい。	
5	廃止		

令和5年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
8	3-1-3	高齢者通いの場づくり応援事業	健康福祉部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	令和5年度は、廃止になった教室もあったが、それを上回る新規の教室の立ち上げがあり、住民主体の「通いの場」は、身体機能の維持・向上だけでなく、地域の関係づくりにつながる事業となったため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	「通いの場」は地域づくりを推進する上で、多くの可能性を持っているため。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	行政のさらなるきめ細かいサポートにより、今後も引き続き、「通いの場」を充実させながら継続できるような支援を求める。	
5	廃止		

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款－項－目	事業名	部局
9	5-2-2	新たな森林管理システム	産業部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	間伐目標に対して結果は64.5%に留まっているが、意向調査により同意されたところから順次、経営計画策定事業が進んでいることは評価できる。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	引き続き森林所有者の意向調査を着実に進めていく必要があるため。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	事業を計画通りに進めるためには、造林補助金の拡充が必要であることから国県への強い要望活動等を引き続き進められたい。	
5	廃止		

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号		款一項目		事業名		部局	
10		6-1-2		産業立地促進事業		産業部	
評価				評価に至った理由			
A		十分評価できる		市内事業者の流出防止効果は認められるが、市外からの企業誘致につながっていない現状がある。			
B		評価できる					
C		あまり評価できない					
D		全く評価できない					
今後の方向性				判断の理由			
1		拡充		市外からの企業誘致につながるよう、用地不足などについて課題解決の必要があるため。			
2		このまま継続					
3		改善して継続					
				翌年度予算に対する意見			
4		大幅な見直し		企業からの相談や問い合わせが企業誘致につながるよう用地・人材の確保などの環境整備に取り組まれたい。			
5		廃止					

令和5年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款－項－目	事業名	部局
11	6-1-4	指定管理施設更新・修繕等事業	産業部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	老朽化した施設の修繕を行うことにより、機能性と快適性を高めることができた。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	修繕に係る市の負担基準について、見直しが必要であるため。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
4	大幅な見直し	翌年度予算に対する意見	
5	廃止	令和9年度の指定管理更新までに協定内容及び施設の必要性について検証されたい。特に収益が見込まれる施設については、民間移管も含めた検討が望まれる。	

令和5年度決算 穴粟市議会事業評価

番号		款一項目		事業名		部局	
12		7-2-3		道路新設改良事業		建設部	
評価				評価に至った理由			
A		十分評価できる		主要な交通手段が自動車である穴粟市において、安全で快適な道路網の整備が行えているため。			
B		評価できる					
C		あまり評価できない					
D		全く評価できない					
今後の方向性				判断の理由			
1		拡充		引き続き計画通りの道路整備を行う必要がある。			
2		このまま継続					
3		改善して継続					
				翌年度予算に対する意見			
4		大幅な見直し		道路新設改良事業について、山田下広瀬線の改良工事は当初の都市計画通りとならなかったことから、新設の工事については計画通りに進められたい。			
5		廃止					

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
13	2-1-9	移住・定住推進事業	建設部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	定住コーディネーターを配置し、移住希望者等に対する相談対応や空き家バンクにおける物件案内、移住後のフォローなど、定住促進に向けたきめ細やかな支援など評価できる。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		判断の理由
1	拡充	森林の家づくり応援事業については、物価高騰等により実績が伸びていないが、移住・定住支援事業の他の事業は市内への転入及び定住促進が図れているため。
2	このまま継続	
3	改善して継続	
		翌年度予算に対する意見
4	大幅な見直し	移住希望者のニーズや空き家の利活用などにおいて、部局の連携を強化し、さらなる定住促進を図れるよう取り組まれない。
5	廃止	

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
14	9-1-3	小中一貫教育総合推進事業	教育部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	宍粟市小中一貫教育の推進及び整備方針に基づいた事業が進められたため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		判断の理由
1	拡充	児童・生徒、保護者、教職員を対象とした学校評価アンケートを実施した結果、多くの項目で高い評価をうけており、気になる状況はないと捉えることができるため。
2	このまま継続	
3	改善して継続	
		翌年度予算に対する意見
4	大幅な見直し	児童・生徒、保護者、教職員を対象とした学校評価アンケートを実施した結果、高評価であったことから評価できるが、推進教員の移動時間確保等の負担軽減を検討していくうえで予算の拡充に努められない。
5	廃止	

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
15	9-6-3	学校給食運営事業	教育部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	物価高騰の中、給食の質を落とすことなく、安心・安全な学校給食を子ども達に提供されている。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	地元生産者と連携して、安定供給を図り、持続可能な学校給食制度を維持し、満足度の高い給食の提供に取り組まれている。	
2			
3	改善して継続	翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	今後も物価高騰、人件費等の引上げが予想されるので、国への恒久的な財政支援の要望に努められたい。	
5	廃止		

令和5年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	一 項 目	事業名	部局
16	収益的収入及び支出	病院事業	総合病院
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	経営強化プランにむけたアクションプランの目標値において、未達成の項目が存在するが、大学医局との連携強化により、医師確保に努め、外来では専門外来として、糖尿外来と腫瘍外来の開設に加え、内科・外科の5診療や小児科の救急、休日応急診療を継続実施するとともに、救急患者の受入れにも積極的に取り組まれた。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	収益的収支の状況は、前年度比7億8,126万円悪化し、1,464万8,000円の純損失となった。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	これまで通り、急性期から回復期までの診療を行い、退院時の在宅医療まで一貫した地域完結型医療を構築し、市民の命と健康を守り安心して安全な医療の提供に努め、経営強化プランとそれに伴うアクションプランを実行していくことにより、医業収益を確保されたい。	
5	廃止		

令和5年度決算 中央市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
17	資本的支出 建設改良費	新病院整備事業	総合病院
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	昨年9月に公募型プロポーザルを実施し、工事実施設計技術協力事業者を選定するとともに、敷地の有効活用のため、農業用水路等移設工事を行うことにより、円滑な施工環境を整えた。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		判断の理由	
1	拡充	新病院開院後、41億円の医業収益を見込んでいるが、令和5年度の医業収益は、約35億円であり、収益の改善が求められるため。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
		翌年度予算に対する意見	
4	大幅な見直し	今後も資材費の高騰による建築費の増額が見込まれるが、必要となる整備内容は担保しつつ、事業費の抑制に取り組まれない。地域医療の充実と財政健全化を図るため、持続可能な病院経営となるよう、経営強化プランとそれに伴うアクションプランの実行に努められたい。	
5	廃止		